

学校法人西南女学院 中期計画 Mission「要」(2022-2026)

【2022 年度 検証】

計 画	2022 年度状況〔1 年目〕	課 題
<p>Mission 1 教育の質保証</p> <p>○大学・短期大学部</p> <p>① 建学の精神を踏まえた教育・学修</p> <p>② 三つのポリシーを起点とした内部質保証</p> <p>③ ディプロマ・ポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価</p> <p>④ 学生支援の充実と強化</p> <p>⑤ 教育環境の整備</p>	<p>○使命・目的を達成するために、保健福祉学部 看護学科 福祉学科 栄養学科、人文学部 英語学科 観光文化学科、助産別科、短期大学部 保育科、短期大学部附属シオン山幼稚園において人材育成を継続している。</p> <p>○キリスト教主義教育の中心としてチャペルや礼拝をまもっている。</p> <p>○内部質保証を一元的に行うため、教学マネジメント検討会を発展させ、「教学マネジメント会議」を置いた。</p> <p>○学修成果を可視化し点検・評価の結果を教育内容方法及び学習指導の改善にフィードバックするシステムを検討した。</p> <p>○アセスメントポリシーに基づく評価による内部質保証体制を構築した。</p> <p>○学生によるピア・サポートを実施し、学生委員会で情報交換を行った。</p> <p>○学生窓口を一本化し、学生情報を共有する組織づくりを推進している。</p> <p>○1・2・3号館ネットワーク敷設及び学生用無線 LAN 拡張を実施した。</p> <p>○第一体育館のトイレを改修した。</p>	<p>○使命・目的及び教育目的が社会情勢などに対応しているかの検証を継続する。</p> <p>○教育の質保証のため PDCA サイクルを十分に機能させる。</p> <p>○学修成果を可視化し点検・評価の結果を教育内容方法及び学習指導の改善にフィードバックするシステムを構築する。</p> <p>○IR 機能の更なる充実を図る。</p> <p>○三つの方針は社会情勢に応じたものであるかを検証する。</p>

計 画	2022 年度状況〔1 年目〕	課 題
<p>○高等学校・中学校</p> <p>① 建学の精神、使命・目的に基づく教育</p> <p>② 学習指導要領に沿った教育</p> <p>③ 教科・科目の目標や内容に応じた教育と達成状況等の評価</p> <p>④ 教育環境の整備</p> <p>○幼稚園</p> <p>① 建学の精神、使命・目的に基づく子どもたちの育成</p> <p>② 幼稚園教育要領に基づく教育</p> <p>③ 短期大学部保育科の研究成果を活かした保育の実践</p> <p>④ 効果的な保育環境の構築</p>	<p>○教科「宗教」で聖書について歴史や内容の学習をした。ミッションマンズ、ミッションウィークをはじめとする宗教教育により、聖書に基づく人間観、社会観、人生観、生命観、倫理観を学習した。</p> <p>○「なりたい私」になるための教育と指導体制として、教科横断型授業を実施し統合学力教育を実施した。</p> <p>○学習支援サービス専門企業のキャリア教育プログラムを導入し、生徒自身が考え方を組み立て表現する力の醸成に努めた。</p> <p>○2023 年度 Wi-Fi 導入を計画し、新たな学習形態を計画している。</p> <p>○「神と人ともに愛される子どもの育成」を旨とした保育を行った。</p> <p>○「満3歳児」「3歳児」「4歳児」「5歳児」それぞれの年齢に応じた生活と遊びの目標を設定した保育を行った。また未就園児の遊び教室も開催し好評を博した。</p> <p>○年に3度の個人懇談を行い、保護者のご家族との信頼関係を築き、園児を中心に分かち合いの幼児教育を心がけた。</p> <p>○老朽化した遊具の更新を計画した。</p>	<p>○人権教育と平和教育のより密な連動性を持つ対応が課題</p> <p>○全教員への「キリスト教教育オリエンテーション」は学事の中でも定着してきた。今後、本校の教員が実践する人間教育の礎となることを期待したい。</p> <p>○「なりたい私」を実現するために各学年の教育活動を連動させ、時代や制度の変化に対応するために、「社会のニード」や「仕事」、「大学」の特徴、「学部・学科・コース」の教育活動を理解し、生徒にとって有益なアドバイスを提供する。</p> <p>○Wi-Fi 環境が整ってからの活用と具体的活用法の提示（「生徒タブレット」の導入と活用）</p> <p>○園生活の要としての礼拝の時間が子どもの生活からかけ離れたものにならないようにする。</p> <p>○身体と心を育てる手作りの給食を継続する。</p> <p>○子育て支援の充実を図るため、短期大学部保育科の「えほんの部屋」の本の貸し出し、「おはなし会」への参加、観劇等々など、今まで以上に連携を促進し、幼児教育の質的向上に努める。</p>

計 画	2022 年度状況〔1 年目〕	課 題
<p>Mission 2 経営基盤の安定</p> <p>(1) ガバナンス強化</p> <p>① 公益法人としてのガバナンスの強化</p> <p>② 理事長の適切なリーダーシップの発揮</p> <p>③ 学長及び校長の適切なリーダーシップの発揮</p> <p>(2) 財政の健全化</p> <p>① 学校法人の永続性に鑑みた収入と支出の管理</p> <p>② 西南女学院のスケールメリットを活かした学生・生徒・園児の募集活動</p> <p>③ 人件費の削減</p> <p>④ 外部資金増加の促進</p> <p>⑤ 数値目標の設定</p>	<p>○大学法人としての自主的な行動規範として、「ガバナンス・コード」を定め、公表・検証を行った。</p> <p>○理事長は、寄附行為に基づき、迅速かつ確かな意思決定にもとづく法人経営を行った。</p> <p>○学長は、学校の目的を達成するために、社会や教育に関する状況を把握し、学校運営に責任を負う者として、リーダーシップを発揮して教育研究の成果が最大になるように努めた。</p> <p>○校長は、キリスト教教育を推進するために「キリスト教教育オリエンテーション」を継続実施し、教会の主日礼拝出席を奨励した。</p> <p>○中期計画（2022-2026）の財政計画の最初の年度 2022 年度の数値達成は実現できなかった。</p> <p>○大学及び短期大学部の教育改革のため、学長の下での将来計画検討プロジェクトを設置し、教育組織の変更も視野にいった協議を続けた。</p> <p>○中学校・高等学校の生徒募集について学長やアドミッション・オフィサーの助言を受けながら塾対策、学校訪問対策を強化した。</p> <p>○短期大学部に3年制コースの導入を検討した。</p>	<p>○学校法人のガバナンスとしての「業務執行と監視・監督の役割の明確化と分離」に資する規則と体制の構築。</p> <p>○短期大学部、中学校・高等学校に関する財政計画の達成。</p> <p>○大学の定員未充足の学科の収支悪化の防止。</p> <p>○学生・生徒の募集体制の強化。</p>

計 画	2022 年度状況〔1 年目〕	課 題
<p>Mission 3 地域社会との共生 西南女学院の資源を活用した地域社会との共生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○2023 年度に向け、学生生徒確保数及び人件費削減の計画を修正した。 ○大学及び大学短期大学部では、行政、企業、市民と 12 の地域連携プロジェクトを計画・実施した。 ○中学校・高等学校では、コロナ禍において地域貢献活動が低調であったが、小学生対象の「英会話教室」、「理科実験教室」を開催した。 ○創立 100 周年の告知に合わせて、公共交通機関やマスメディアを利用した広域広報を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○西南女学院は自己を高め、夢を実現することができる学校であるということを地域社会に再認識していただくことに努める。